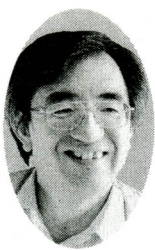


時評



佐藤 洋一郎

(総合地球環境学
研究所教授)

ジ・エンドという名前の科学番組が英国BBCで放送され反響を呼んだ。大津波、巨大隕石の衝突、殺人ウィルス、科学者の失敗がもたらしたブラックホール、という四つの原因により現在の文明が崩壊するその日が、オムニバス風に描かれている。

大津波編では高さが優に百層を超える津波がニューヨークを

科学番組「ジ・エンド」

本当の恐怖は文明崩壊

のみ込み一瞬にして町を破壊してしまふ。巨大隕石の襲来ではベルリンが一瞬に消滅し、周囲に何百万という犠牲者が出る。殺人ウィルスはロンドンを一日で混乱させ壊滅に追いやる。ブラックホールは科学者の実験の間違いでできたもので、あらゆるものがそれにのみ込まれてゆく。

明崩壊の本当の怖さを語っていない。どの筋書き通りに話が進んでも、人類全部が瞬時に死に絶えるわけではない。そして生き残った人びとを襲うのは、続いて起きるさまざまな現象である。

が世界中にあふれ、あるものは暴徒化する危険性がある。数カ月後には気候変動が起きはじめるかもしれない。すると今度は食料や生活物資の生産に打撃を受けるだろう。

生き残った人びとにはこれらすべてが互いに関係しあひなが重くのしかかり、生命線は少しずつ侵略されてゆく。本当の恐怖は、こうした長く続く、じ

く。

どのシナリオでも実在の科学者が登場し、「こうした現象は必ず起きる。問題はそれがいつ起きるかだ」と警鐘をならす。緻密なシミュレーションとそれにもとづくCGが、今を生きる誰もを経験したことのない大惨事をリアルに描き出している。

しかし「ジ・エンド」は、文

が、それが人間の実生活にどういう影響を及ぼすかの予測がない。平均気温がたとえば四度上がれば、社会や身の回りの自然にどのようなことが起こるのか。たとえば静岡のみかんや茶はどのようになるのか。さらにさまざまな要因が関係しあつて、何年後にはどんな事態が起きるのか。そうしたことをそが明らかにされるべきではないかと私は思う。

執筆者略歴

ちこちで地震や火山噴火が起きるかもしれない。怪我をしたり引き続いて起きる伝染病に感染した人の数ははかり知れない。心理的な影響も深刻だ。家族は分断され、学校や会社はじめ社会全体のネットワークは崩壊し、秩序と安寧が失われる。パニックは多くの人に異常な行動をとらせるだろう。難民

具体的な予測が示されている

地球環境の予測に関しても同じことが言える。百年後には地球の温度が数度上がるなど

大津波編では高さが優に百層を超える津波がニューヨークを

大津波編では高さが優に百層を超える津波がニューヨークを